

2023年7月21日

島根県知事 丸山達也 様

日本共産党島根県議団  
団長 尾村利成  
幹事長 大国陽介

## 7月8日からの大雨被害にかかる申し入れ

停滞する梅雨前線の影響で、島根県内においても豪雨に見舞われ、県東部では8日、集中豪雨をもたらす線状降水帯が発生しました。局地的豪雨により、浸水などの住家被害は、出雲、松江、益田、大田、安来、雲南各市と吉賀、西ノ島の計8市町で74棟に上っています（14日時点）。

農林水産関係では、東部では松江市と出雲市、雲南市、西部では大田市、益田市、川本町、隠岐では隠岐の島町、西ノ島町のあわせて11市町で被害が確認されています。

ハウス浸水冠水や畑への土砂流入・冠水被害によって、トマトや青ネギ、アスパラガスなどの野菜、ブドウやイチジク、柿などの果物、水稻などの被害額は3000万円弱に及んでいます。

さらに、106か所の農地で土砂流入などの被害が発生し、農道や水路など79の農業用施設で、のり面が崩れるなどの被害が確認されています（18日時点）。

出雲市では川に車が転落し、男性1人が亡くなられる痛ましい事故が起きました。心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。行政機関の皆様が被災者支援にご尽力されていることに対し、心からの敬意を表します。

日本共産党は、災害発生直後から党県議団をはじめ、地元の議員や党組織が現地に入り、被災者から様々なご意見・ご要望を伺ってきました。

現地調査で寄せられたご意見・ご要望などを踏まえ、次の事項を申し入れます。

### 記

#### 1. 被災者の生活再建支援について

- ① 被災者生活再建支援法の適用対象を拡大すること。あわせて、支援上限額を引き上げるよう国に求めること。
- ② 県独自の被災者生活再建支援制度の拡充を図ること。
- ③ 生活と生業の再建への支援メニューを被災者に周知すること。各種税金や各種保険料（国保、介護、後期高齢者医療、年金など）、保育料などの徴収猶予、減免制度を周知・徹底すること。
- ④ 住家の被害については、外見による認定だけでなく、被災者の訴えを反映した住まいとしての機能に着目した認定を行うこと。罹災証明の発行、被害認定の職員確保については万全を期すこと。

#### 2. 避難所の機能・環境改善について

- ① 避難所における「3密」回避徹底や消毒液、マスク、段ボールベッドの備蓄など新型コロナ感染拡大防止対策を徹底できるよう県内の備蓄状況の再点検及び改善を図ること。
- ② 女性、子ども、高齢者、障がい者の現状を把握し、ジェンダー平等の視点に立って安心できる生活環境の整備を図ること。

### 3. 商工業、農林水産業への支援について

- ① 商工業、農林水産業者にとっては、燃油・資材の高騰、コロナ禍、豪雨災害の三重苦となっており、事業の存続さえも危ぶまれている。被災した設備・機械の修理等にかかる経費が事業継続の負担とならないよう実効ある支援策を講じること。
- ② 農作物等の被害の十分なる補償、農地や農業施設などの復旧にかかる農家の負担を免除・軽減すること。

### 4. 土砂災害対策、河川改修、道路施設の老朽化対策について

- ① 近年、記録的豪雨が頻発し、極めて短時間に住宅浸水や土砂災害が発生し、深刻な被害が多発している。激甚化・頻発化する災害に対応した防災安全対策へ、既存対策を総点検し、計画を見直し・強化すること。
- ② 県の試算では、防災・減災、国土強靱化のために実施する公共土木事業予算は、今後とも少なくとも1兆円以上が必要とされている。松江北道路建設（総事業費250億円）など住民合意のない大型開発事業は中止し、住民の命と安全を守る事業こそ最優先に実施すること。防災・減災事業（河川整備、砂防関係、道路施設の老朽化対策）に予算と人的資源を優先的に投入すること。
- ③ 土砂災害危険個所での災害を未然に防止するため、砂防関係事業の予算を拡充すること。整備事業にあたっては、受益者負担の軽減を図ること。
- ④ 浸水被害、土砂災害を未然に防ぐためにも、河川や砂防ダムの堆積土砂の撤去、樹木伐採などの維持管理の充実を図ること。堤防整備や水防災事業の予算増額と事業のさらなる推進、住民負担の軽減を国に強く要求すること。
- ⑤ 自治体リストラで土木・建築技術者も削減され、現場の技術力が低下している。必要な建設・土木技術者が確保できない市町村も生まれている。災害時に十分な機能と役割が発揮できる体制を強化すること。技術職員をはじめ防災担当や専門的な知識と経験を持つ職員を十分に配置、充実すること。

### 5. 松江市街地の治水対策について

- ① これまで幾度となく、床上・床下浸水の被害を受けている地盤の低い黒田・春日地域の水害を軽減するため、河川改修のさらなる推進を図ること。
- ② 松江市街地の持つ歴史的な景観や観光、水環境等へ配慮しながら、河川の拡幅などの河道整備や内水排除ポンプの設置のほか、雨水排水路の整備など、総合的な治水対策を講じること。

### 6. 出雲市内の治水対策について

- ① 繰り返し氾濫する平田船川、湯谷川をはじめ、新内藤川、赤川・塩冶赤川、十間川、高瀬川（斐川）など、河川改修のさらなる推進を図るとともに、整備計画及び進捗状況を住民へ周知すること。